

# 掲示板のことば

生死は  
凡夫の知恵  
では  
解決できない  
のです

2017. 12

私のいのちは、生まれ、死んでゆくいのちです。この事実は、誰にでも理解できる平等な真実です。しかし、理解はできても、すんなりと受け入れることができません。やがては死んでゆくいのちを、いま生きている。

なぜ死んでしまうのか、または、なぜ死んでゆくいのちを生きなければならぬのか。この問いを突き詰めていくと、「なぜ生まれてきたのか」という虚しさへと迷い込んでしまいます。

仏の教えは、人は「真実（ほんとう）」ということに出会うために生まれてきたのだと説かれます。「ほんとう」に出会い、「ほんとう」に生きることで、生まれた意義と生きる喜びを知ることができるのだと教えます。

いま、「終活」ということがブームになりつつあります。しかし、多くは「どのようにいのちを終えていくか」、つまり、「どのように死んでゆくか」ということに目を向けているように思いますが、それで「ほんとう」に生きてゆけますか？

死にゆくいのちをどう生きて往くか（往生）ということは大問題です。私が願う「終活」とは、仏の教えを「よりどころ」として、今を生きて往く道を探ねてゆくこと。一人ひとりの壮大な人生の「ものがたり」を、仏の智慧に照らされながら紡いでゆく歩みなのではないかと思っています。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹